

14名ルールの適正な運用について

原則として他学年の児童は出場できない。ただし、当該学年が14名に満たない場合は、下学年から補充することができる。この場合、大会趣旨を踏まえ、当該学年の選手の試合に出る機会を妨げることがないようにすること。また、補充した選手を会場責任者に申告すること。なお、上学年に出場しても本来所属する学年の大会に出場できるものとする。

14名ルールの適正な運用を図るようお願いします。

1 各チームの監督

(1) 当日メンバー表の作成を14名ルールにのっとり行うこと。

メンバー表には登録したメンバーのすべてを書くことができる。(ベンチには登録した全員が入れる。)

当該学年の選手の氏名から書き、そのあとに補充する下学年の選手の氏名を書く。

当該学年の選手が先発するように をつける。

控えに選ぶ選手には をつける。その際、当該学年に がつがず下学年の選手に がつくのは認められない。

と の選手を合わせ、その試合に登録した人数が14名以下であることを確認する。

(2) 大会の趣旨をコーチ、選手、保護者に教えること。

下学年には下学年の大会が市川市第4種委員会の運営は用意されていることを伝え、「原則として他学年の選手は出場できない」という方針を理解してもらう。

2 会場責任者

(1) 大会当日の朝の打合せにおいて、14名ルールを適用し参加しているチームを確認する。

14名ルールが適用となるチームの当該学年人数を確認し、1試合における下学年の補充人数を確認する。

【例】「市川バルサは 年生が8人ですから、1試合における補充は6名ですね。」

14名ルールが適用となるチームに当日メンバー表の書き方を確認する。